

## アメリカホームページ事情あれこれ

米国ニュージャージー州立ラトガース大学

曾我 公平

### Application of Internet in America

Kohei Soga

*Rutgers, the State University of New Jersey*

「インターネットって何?」とか「ホームページって何?」とかいいながら、Mosaic (当時はこれが最新鋭のブラウザでした) をパソコンにインストールし、バグに苦しみつつもパソコン上でネットワークから迅速に供給されるグラフィックに驚喜しながら「ネットサーフ」していたのは、実はそれほど前の事では無いのですが、あっという間に急速な進歩が遂げられ、いまではグラフィックどころか映画や音声がほとんどストレスなく送受信でき、電話までできてしまう今日この頃です (余談ですが、米国某メジャー電話会社の日米国際電話料金はなんと1分間19セントです。これは1分数セントでかけられるインターネット経由の国際電話との競争の上で値下げされたというもっばらの噂です)。インターネットのページも莫大な数になり、利用方法も以前とは少し違ってきています。以前は目次をクリックしながらリンクを辿っていくいわゆる「ネットサーフ」方式でしたが、最近は検索エンジンが発達したため、より目的指向が強くなっているように思います。

本誌の「ホームページ紹介」は、先進的な会

社がどのように取り組んでおられるかを紹介し、業界におけるインターネットの活用を促進することを目的として連載されてきましたが、今回から「面白ホームページ紹介」とタイトルを変えて、ちょっと面白い海外でのインターネットの使い方や興味深いホームページの内容を紹介するコーナーにしたいとのことで、この9月から米国に留学した小生に原稿の依頼を頂いた次第です。インターネットを使いこなしている方には「何をいまさら」と失笑を買ってしまいそうですが、「インターネットってどんな役に立つのかいまひとつ……」と思っておられる方は、是非御一読を。

大学で——日本でも大学でのインターネットの利用は盛んですが、こちらの大学 (<http://www.rutgers.edu>) に来てから、前任の大学では無かったシステムがあることに気付いたので御紹介します。まず文献検索です。図書のオンライン検索はいまではどこの大学でも非常にポピュラーになっていますが、こちらの大学で良いのは、コピーのリクエストができる点です。学生と職員は図書のIDとPAI (暗証番号) を持っていて、オンライン上で検索した文献のコピーを依頼すると送付してもらうことができます。一部電子化されている雑誌については、即座にPDFファイルで見ることができます。ま

た、学生はどんなクラスがあるかホームページで検索し、科目登録もオンラインで行います。さらに、教授は講義用のOHPや資料、場合によっては教科書をホームページに掲載し、学生はこれを予習復習に役立てています。オフィスの同僚が、パソコン上でムービーを見ているので何かと聞いたら、「学生実験の手順を説明するためのムービーだ」といっていました。学生はビデオ画像付きで実験の予習ができるわけです。これらの意味で、ホームページが単なるブロードキャスト的な情報発信源としてだけではなく、双方向通信手段として有効に活用されているように思います。ただ、上記のインターネットの活用を試みたことのある方は御存じだと思いますが、これを民間委託すると、非常に高いコストがかかり、また、自分でやろうとすると多大な時間をさかなければなりません。ラトガース大学の場合は、計算機専門の職員と学生アルバイト（もちろん有給）をうまく活用して、誰でも簡単に気軽に大学のコンピューターにホームページを持ち、活用できるようにサポート体制が整っています。前任の大学ではボランティアでまかなわれていた部分が多く、実質的にIPの発行以外は（ソフトウェア的な）サポートは期待できませんでした。この辺がインターネットの活用の度合いを左右しているように思います。また、大学のページの中のビジター向けページが充実しているのもこちらの大学のホームページの特徴です。地図、ドライブガイドはもちろんのこと、近辺の宿泊施設のページがあり、訪問者への便宜をはかっています。このおかげで救われたエピソードをひとつ。7月末の事、小生はディスカッションのため日本から一週間程当地へ出張しました。その際に、先方で宿を手配してもらい、宿の住所と電話と地図を郵送してもらうように頼んだのですが、なぜか私の手許に届かず、しかも先方の秘書は夏休み。唯一の手がかりはホテルの名前がQuality Innであるということのみ。出発直前になっても郵便が届かず、結局ラトガース大学

のホームページで近所のアコモデーションのリストを入手し、住所からYahoo Mapで地図を入手して、無事目的のホテルにレンタカーでたどり着けたわけです。小生の拙い知識では、日本のYahooの地図では何番地何号まで住所を特定することは困難ですが（今は改善されているかも知れませんが）、米国のYahoo Mapの場合、番地まで対応しているの、きちんと場所を特定できます。

共同研究——インターネットはWebだけではありません。こちらである企業と共同研究を行っていますが、最初にやったことは何かというと、ftpサイトの設置です。実験データ、プレゼンテーション資料、文献など、設置したftpサイトで共有しています。先方の企業において行われるプレゼンテーション用の実験データを前の晩にアップロードしても間に合うので重宝しています。もちろんメール添付でも可能ですが、グラフィックやデータでファイルサイズが大きい場合や、参画人数が多い場合はftpの方が便利ですね。

出張・旅行——出張や旅行の時、以前は時刻表を開く、旅行代理店に電話するというのが普通でしたが、最近はインターネットを利用できるため、随分時間の節約になっています。例えばユナイテッド航空の場合 <http://www.ual.com> に繋ぎ、フライトサーチのページで日程と行程を入力すると、フライトの候補が表示されます。このシステムの優れているところは、他の航空会社の候補も同時に検索してくれて、さらに安価なルート（航空会社）がある場合は、それも表示してくれる点です。そして、フライトを選択し、あとはクレジットカードで決済できますが、その前に、レンタカーと宿の予約のページがあるのもこのサイトの便利な点です。レンタカーは空路検索時に入力した日程と行程から自動的に料金を計算してくれますし、宿は宿泊費の範囲と目的地からの距離を入力すれば、

リストが表示され、その中から選ぶことができます。もちろん地図も表示できます。これで準備完了です。24時間いつでも10分もあれば出張の準備は完璧です。

通信販売——米国にはSTAPLES(<http://www.staples.com>)という事務用品の量販チェーンがありますが、ここはWebで注文すると、翌日には品物が届きます。米国では日本に比べてもともとクレジットカードを使った通信販売が人気がありますから、これまでファックスオーダーだった物が、オンラインでカタログを見ながら注文できるようになり、洋服、キャンプ用品、電気製品、食材から実験器具に至まで、実にあらゆる種類の通信販売サイトがあります。先日大手の光学機器会社の営業の人と話していて、カタログを送ってくれないかと頼んだら、送ってもいいけど、Webサイトの方が便利なんじゃ無いの？ といわれてしまいました。最近商品に関心があってWebサイトを訪れてもカタログがないのがっかりですね。本を買う場合には、検索が可能な分刷り物のカタログよりも大きなメリットがあります。せっかくアメリカにきたんだから前から欲しかった洋書でも買おうかな、と思ったわけです。学術書といえば大学の書店。学生に、「うちの大学のBook Storeにこの本あると思う？」って聞いたなら、答えは、「なんでBook Storeが必要な？ amazon.comがあるのに。」という答えが返ってきました。そうです。<http://www.amazon.com>ではあらゆる書籍を扱っているのです。もちろん日本へも配送してくれます。

研究——周りの米国在住の研究者や学生に、どんなふうにインターネットを使ってる？ と聞くと、やはり「既往の研究の調査かな」という答えが返ってきます。冒頭でも少し触れた通り、インターネットの検索技術は大きく進歩しています。以前はYahooしかありませんでしたが、現在ではAltaVista([\[altavista.com\]\(http://www.altavista.com\)\), Infoseek\(<http://infoseek.go.com>\)など、自動的にサイト内のキーワードを検索して、データベース化することにより、登録のいかに関わらず、内容のテキストの検索ができます。試してみてください。これに伴ってYahooの利用価値も変化して来たように思います。Infoseek等の検索では候補がたくさんあり過ぎて絞りきれない時にはかえってYahooの方が便利です。またMenuを辿って行けるのも魅力で、カテゴリーから辿っていきたい時はYahooが便利です。MacOSを使っておられるなら、Sherlockを使わない手はありません。Sherlockでは、いろいろな検索サイトに関して、マルチ検索が可能で使い方も簡単です。たとえば、`command+f`でSherlockを開き、「ニューガラス」と入力して「検索」をクリックするだけで、いくつもの検索エンジンからの結果を情報の符合率が高い順にリストしてくれます。](http://www.</a></p>
</div>
<div data-bbox=)

科学データ——NIST(National Institute of Standard)のページ<http://physics.nist.gov/>では、基礎物理データ、原子スペクトルデータベースを始め、様々な科学データが収録されており、重宝しています。他にも米国のサイトにはたくさんのデータがあります。<http://www.infoseek.co.jp>や<http://www.yahoo.co.jp>だけでなく、たまには<http://infoseek.go.com>や<http://www.yahoo.com>につないでみると、意外に有用なデータが入手できるかも知れません。

NGFリンク集——ニューガラスフォーラムのホームページ<http://www.ngf.or.jp>のリンク集には海外のガラス会社、研究機関の他、ドイツ語やフランス語から英語への翻訳サービスのリンクもありますので覗いてみてください。

番外——海外在住予定の方へ。日本の新聞をインターネットで読めるのは便利ですが、最近

はクロネコヤマトのサービスで、インターネット上で検索した本を海外へ配送してくれます。詳しくは <http://www.bookservice.co.jp/> を参照してください。

インターネットも昔にくらべるとずいぶん便

利になりました。いま、飛行機の中でこの原稿を書いています。隣のアメリカ人のお婆さんが小生のラップトップを覗き込んで曰く「わたしやどうもコンピューターってのがだめでね、別に手紙で十分じゃないのかい?」。そうかもしれませぬ (失笑)。